



# は〜と通信



令和8年5月26日

4月の下旬に子ども達と一緒に野菜や花などを育てようという話をしました。すると、最初は「ぶどうがいい」「もも」「りんごは」という声が多かったです。そこで、“育てる”ってどういうことなのだろうと考えました。子ども達は「お水あげたらいいんじゃない」「大切に作る」という返事がありました。そこで絵本や図鑑を見てどれがいいかなと再び考えました。そしてようやく、『とまと』『きゅうり』『すいか』『ひまわり』『いちご』に決めました。苗を買い畑へ植えている時の子ども達は「折れるよ」「そーっと持って」と茎が折れてしまうのではないかと慎重に苗を触っていました。毎日交代をして水やりを頑張っています。どのくらい野菜が育つのか、それとも虫たちに食べられてしまうのか心配なことはたくさんありますが、楽しみな事もたくさんあります。

自分の育ててみたいものを選び、グループになって話し合い



野菜の苗の葉っぱを触ってみて「なんか、ざらざらするね」、匂いをかいでみて「いい匂いするよ」

野菜の苗植えと水やり

出来たよ見て

看板作り

「ここどうやってする」「何色にする」



「そーっとせんなんよ」「こうやってか?」「とまとでできるといいね」



「いちご取れたよ」

「甘い匂いするね」「早く食べたいね」

イチゴの収穫



野菜や果物などを“育てる”という事の難しさ、そして自分たちで収穫し食べることの嬉しさや楽しさを、これからもいっぱい経験してほしいと思います。



「甘ーい」「冷たい」「ちょっとすっぱいけどおいしい」

いちご飴を作ってたべました。